

授業科目	*ソーシャルワーク演習				単位	1		
履 修	必修	関連資格	社会福祉士 精神保健福祉士		ナンバリング	WE11226J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1			
担当教員	通山 久仁子、岡田 和敏、文屋 典子、高口 恵美、梶原 浩介							
授業概要	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を理解したうえで、1. ソーシャルワーカーとして求められる基礎的な能力、2. ソーシャルワークの価値規範と倫理、3. ソーシャルワークの展開過程において用いられる知識と技術について、実践的に学ぶ。本演習では、個別指導や集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導を行う。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 自己覚知について、実践的に理解できる。 基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解できる。 基本的な面接技術について、実践的に理解できる。 ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解できる。 ソーシャルワークの記録について、実践的に理解できる。 グループダイナミクスの活用について、実践的に理解できる。 プレゼンテーション技術について、実践的に理解できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	20	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)				10			10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10	10		10	30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10			10	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)				10			10	
態度 (DP4-3)						10	10	
技能・表現 (DP5-1)						20	20	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 自己覚知について、実践的に理解し、習得できる。 基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解し、習得できる。 基本的な面接技術について、実践的に理解し、習得できる。 ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解し、その技術を習得できる。 ソーシャルワークの記録について、実践的に理解し、その技術を習得できる。 				<ol style="list-style-type: none"> 自己覚知について、実践的に理解できる。 基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解できる。 基本的な面接技術について、実践的に理解できる。 ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解できる。 ソーシャルワークの記録について、実践的に理解できる。 グループダイナミクスの活用について、実践的に理解できる。 				

6. グループダイナミクスの活用について、実践的に理解し、その技術を習得できる。 7. プレゼンテーション技術について、実践的に理解し、習得できる。		7. プレゼンテーション技術について、実践的に理解できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 本演習のねらい、内容、演習の方法、進め方について理解する。ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性について理解する。	講義 グループワーク	当該部分の復習	30
2	ソーシャルワークの価値と視点 ソーシャルワーカーに求められる倫理について、実践的に学ぶ。	講義 事例演習 グループワーク	当該部分の復習	30
3	自己覚知 自己覚知とその意義について理解し、自己理解と他者理解の方法について、実践的に学ぶ。	講義 グループワーク	当該部分の復習	30
4	基本的なコミュニケーション技術 非言語的コミュニケーション(表情、態度、身振り、位置取り等)について、実践的に学ぶ。	講義 ロールプレイ	当該部分の復習	30
5	基本的なコミュニケーション技術 言語的コミュニケーション(質問、促し等)について、実践的に学ぶ。	講義 ロールプレイ	当該部分の復習	30
6	基本的な面接技術 面接の構造化、場の設定(面接室、生活場面、自宅等)、ツールの活用(電話、e-mail等)について、実践的に学ぶ。	講義 ロールプレイ	当該部分の復習	30
7	基本的な面接技術 基本的な応答技法(言い換え、感情の反射、繰り返し、要約等)について、実践的に学ぶ。	講義 ロールプレイ	当該部分の復習	30
8	ソーシャルワークの展開過程 ソーシャルワークの展開過程の全体像とワーカーの役割について理解し、ケースの発見、インテーク、アセスメントについて、実践的に学ぶ。	講義 事例演習 グループワーク	当該部分の予習・復習	60
9	ソーシャルワークの展開過程 プランニング、支援の実施、モニタリング、支援の終結と事後評価、アフターケアについて、実践的に学ぶ。	講義 事例演習 グループワーク	当該部分の予習・復習	60
10	ソーシャルワークの記録 記録の意義、様式、方法について理解し、支援経過に沿った記録の作成と管理の基本について、実践的に学ぶ。	講義 事例演習 グループワーク	当該部分の予習・復習	60
11	ソーシャルワークの記録 マッピングツールについて理解し、マッピングツールを用いた記録の作成について、実践的に学ぶ。	講義 事例演習 グループワーク	当該部分の予習・復習	60
12	グループワークの展開過程 グループワークの構成(グループリーダー・コーリーダー・グループメンバー)、グループダイナミクスを用いた支援の効果、ワーカーの役割について理解し、グループワークの準備期・開始期の介入方法について、実践的に学ぶ。	講義 事例演習 グループワーク	当該部分の予習・復習	60
13	グループワークの展開過程 グループワークの作業期・終結期における介入方法について、実践的に学ぶ。	講義 事例演習 グループワーク	当該部分の予習・復習	60

14	プレゼンテーション技術 個人プレゼンテーション、グループプレゼンテーションの方法について、実践的に学ぶ。	講義 グループワーク	当該部分の予習・復習	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「福祉入門」や「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ福祉や援助技術に関する基本的な知識、「ヒューマンサービス基礎演習」で学んだコミュニケーション技術を、本演習で活用できるようにしてください。			
テキスト	なし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	担当教員より演習の中で適宜紹介します。教材として、必要に応じて視聴覚教材を用います。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	社会福祉の学びは、理論と実践の両輪が必要です。演習で学んだ内容について復習し、ボランティア活動や「基礎実習」などで実践してみてください。そして身につけた知識や技術を、「ソーシャルワーク実習」で活用できるようにしてください。			

達成度評価に関するコメント	授業内での発表、課題・レポートの内容・提出状況、その他(授業の参加意欲、グループワーク・ロールプレイにおける発表・発表内容・リーダーシップ・協力度など)で評価します。詳細は、授業内で提示します。
---------------	---